

**「次世代シグナル達学の教育研究国際拠点」
第10回シグナル伝達医学グローバルCOE学術講演会**

“The role of regulatory T cells during ultraviolet (UV) irradiation-induced skin cancer.”



演者： Prof. Stefan Beissert
所属： Department of Dermatology
University of Münster
日時： 平成21年 7月 22日 (水) 17:00～
場所： 神戸大学医学部臨床研究棟 B講義室

演者と講演要旨の紹介： Beissert教授は皮膚免疫の研究を進めてこられました。特に、近年、制御性T細胞の皮膚疾患への関与について多くの研究をされています。今回は紫外線誘発皮膚がんにおいて大きく関与する紫外線による免疫低下の過程において、Receptor activator of NF-kappa B (RANK)のリガンドであるRANKL (CD254)の表皮での過剰発現が表皮ランゲルハンス細胞、制御性 T 細胞にいかに関与しているかについて、皮膚免疫の背景を含めてわかりやすくお話いただきます。

多数ご参加下さいますようお願い申し上げます。

担当： 皮膚科学分野 錦織 千佳子（内線:6131）
連絡先： シグナル伝達医学グローバルCOE事務局
Tel: 078-382-5200 E-mail: gcoestm@med.kobe-u.ac.jp